

# 小学校・第6学年・音楽科・手拍子を合わせて演奏しよう①

## 育成を目指す資質・能力

曲想と音楽の構造との関わりなどを理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫することができるようにし、手拍子による合奏に親しむ。

## ICT活用のポイント

- 自分に必要な機能を必要な場面で選択して使うことができるようにする。
- 学習の振り返りや成果の確認に生かすなど、学習のポートフォリオとして活用することも有効。

## 事例の概要

曲の特徴をつかむ

各パートを演奏する

演奏の仕方を工夫する

音を合わせて演奏する

- 楽譜を見ながら簡単なリズムを手で打つ。
- 手拍子のリズムを組み合わせた合奏曲を聴き、感じたことや聴き取ったことを話し合い、曲の特徴をつかむ。
- ICT端末で範奏を聴きながら、各パートを演奏する。
- 自分たちの演奏を録音・録画するなどしながら、表現の仕方を工夫する。
- 友達と手拍子を合わせて合奏し、ICT端末で撮影した演奏動画をクラス全体で鑑賞し合う。
- プレゼンテーションソフトに自分たちの演奏データを貼り付け、学習の振り返りを入力する。

# 小学校・第6学年・音楽科・手拍子を合わせて演奏しよう②

## 【事例におけるICT活用の場面 1】



- 範奏の音源に合わせて簡単なリズムを手で打つ。
- 各パートの範奏音源を聴きながら模奏する。
- 適宜、他のパートの音源を聴きながら演奏したり、速度を変えながら演奏したりする。
- **自分たちの演奏を録音して確かめたり、録画機能を活用して音色や強弱等について表現の仕方を工夫する。**

- ✓ 一人一人の必要に応じて範奏を聴いたり、自分たちの演奏を客観的に確認したりすることなどができるという利点がある。
- 自分たちのペースや課題に合わせて、必要な場面で、必要な機能を選択して使うことができるよう指導を工夫。

## 【事例におけるICT活用の場面 2】



- 友達と合わせて合奏し、演奏している動画を撮影する。
- プレゼンテーションソフトに自分たちの演奏動画を貼り付け、クラス全体で鑑賞し合う。
- 互いの動画にコメントを付けたり、学習の振り返りを入力したりする。

- ✓ 自分たちの演奏を客観的に確認したり、それを蓄積して学習の振り返りに活用したり、クラウドを活用して友達と共有したりすることができるという利点がある。
- 学習で記録した演奏等をポートフォリオとして保存し、それを学習の振り返りに活用し、学習の成果を確認する機会を設けることも有効。

【活用したソフトや機能】 録音・録画機能, ファイル共有機能